

カトリック中央協議会  
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN



〒135-8585 東京都江東区潮見二丁目10番10号 日本カトリック会館内  
% JAPAN CATHOLIC CENTER,  
10-10, SHIOMI 2-CHOME, KOTO-KU, TOKYO 135-8585, JAPAN  
Key Tel. 03-5632-4411・Fax. 03-5632-4453

PROT.NO.

CML2016-07

2016年6月23日

>>プレスリリース<<

ユスト高山右近の列福式、2017年2月7日、大阪市で

教皇庁国務省（長官：ピエトロ・パロリン [Pietro Parolin] 枢機卿 [出身国 イタリア共和国]）は、ユスト高山右近殉教者の列福式を、2017年2月7日(火) 正午から、大阪市で執り行うと発表しました。会場は大阪城ホール(大阪市中央区大阪城、収容人数 約1万2千人)を予定しています。右近は、本年1月21日に教皇フランシスコが殉教者として列福を承認しています。

列福式の主催は教皇庁国務省ですが、実際の開催準備は、日本カトリック司教協議会とカトリック大阪大司教区が組織する列福式実行委員会が行います。また教皇フランシスコは、列福式の司式のため、教皇庁列聖省長官アンジェロ・アマート (Angelo Amato) 枢機卿 (出身国 イタリア共和国) を教皇代理として日本に派遣します。

列福式への参列希望者に入場整理券（無料）を配布いたします。その申し込みや受け取りなどについては、列福式実行委員会からまもなく発表されます。

この件に関するお問い合わせ先

日本カトリック司教協議会 列聖推進委員会 事務局

担当：平林冬樹、寺村淳子

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館

電話；03-5632-4445、FAX：03-5632-4465

カトリック大阪大司教区事務局 企画広報課

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22

カトリック大阪大司教区本部事務局 担当：田治一仁

電話：06-6949-8925、FAX：06-6946-1345

## 列福されるユスト高山右近殉教者

新たに福者の列に加えられるユスト高山右近（1552年・天文22年 摂津の国 高山生～1615年・慶長20年マニラ没）は、安土桃山時代から江戸時代初期にかけて、人びとに大きな影響を与えたキリシタン武将として広く知られています。織田信長や豊臣秀吉らの信頼を得て重用され、栄達を約束された道を歩むかに見えました。しかしキリスト教に対する政策を大転換した豊臣秀吉から信仰を捨てるよう厳命されたとき、信仰を守って改易されました。加賀の国の前田家に身を寄せながら領民に慕われた右近でした。しかし1614年に徳川幕府が打ち出した厳しい禁教令のもとでも信仰の自由を守りぬき、同年末、祖国を追われてマニラに流されました。右近は、キリスト教国であったフィリピンの首都マニラで大歓迎を受けましたが、直後に病を得、翌1615年2月3日未明、静かに息を引き取りました。

才能、財産、地位、名誉で人間に優劣を付けようとする社会的な価値観で見ると、大名を改易された後の右近は、没落の一途を辿ったように思われるかもしれません。しかし揺るぎない永遠の愛で人を生かす神への信仰に生きた右近は、迫害を受けたとしても、いっそう幸せになる道を進んだといえるでしょう。人が、真に人として生きる道は、ここにしかないという確信です。

## 福者とは

教会は、ある人びとの死後、その人びとを聖人や福者に認定する習わしがあります。これは、いわゆる叙位叙勲制度とは、まったく異なります。キリストがもたらした福音に真の救いがあることをその生き方によって示し、信仰のあかしにおいて模範を示した人びとを、教会は、聖人・福者であると宣言し、キリストに従う道を示す模範として、特別な尊敬を払ってきました。福者は、聖人に認定される前の段階であり、聖人と福者の間には、優劣の差はありません。聖人は、全世界の教会において公の礼拝の場で祝われます。他方、聖人の前段階である福者は、おもに出身国の教会の礼拝で公に記念されます。日本の教会では、パウロ三木やトマス西ら42人が聖人に。ペトロ岐部や中浦ジュリアンら393人が、福者の認定を受けています。

## 殉教者とは

信仰は、理論や理念を納得して受け入れるのではなく、人間を愛し救う神を全人格で受け入れることです。信仰は論理的な説得ではなく、あかしによって伝わります。あかしには、いろいろありますが、もっとも説得力をもつのは、自己のいのちをかけたあかしです。いのちをかけて信仰をあかしした人を、教会は、殉教者として、その生き方に倣おうとします。おもに次の三点が揃ったあかしが殉教と認められます。

第一は、迫害によって実際に殺害されるか、殺害を視野に入れた拷問や投獄による死です。第二は、迫害者の意図、すなわち、迫害する側の明確な意図は、信仰への憎悪と反感であること。被迫害者の意図です。第三は、迫害される側が、死に至るまで迫害を甘んじて受けたその動機が、ただ信仰によると認められることです。右近は、実際に殺されたわけではありません。しかし異国への流罪そのものが、死を見据えたことであり、殺害されたと同様であると認められます。また迫害する幕府も、迫害される右近も、政治的・経済的な意図はなく、ただ信仰の一点を巡ってのことでした。従って、右近の出来事は、殉教と言えるでしょう。